

④3 劇団「海の気持ちメーター」(鳥取市青谷町)

海の現状について知ってもらおうと、昨年7月ごろに劇団を立ち上げた。メンバーは青谷高2、3年の6人。演劇部員ではなく、全員が海岸の清掃活動などに取り組む「ソーシャルアクション同好会(生徒15人)の会員だ。

授業で海岸の清掃活動をした生徒たちが2024年5月に立ち上げた同会。普段は月1回の例会があり、海岸のごみ拾いや海の水質調査、啓発イベントの開催に取り組む。

メンバーたちの間で「次



海の環境問題、劇で伝える

世代を担う子どもたちに海へ関心を持ってもらいたい」との思いが芽生えたことが劇を始めたきっかけだという。当初は紙芝居なども案が上がったが、メインターゲットの子どもに加え、子どもとの両親といった大人など幅広い世代に楽しんでもらえるのは創作劇だと意見がまとまった。

「恥ずかしがらず、堂々



劇の練習に取り組むメンバー

と」。演劇未経験のメンバーばかりだったが、立ち上げ当初からプロの演者の指導も受けながらせりふを暗記し、演技を磨いた。

昨年11月に千葉県船橋市で開かれた「うみぼす甲子園」決勝大会では独自性が評価され「海と日本プロジェクト賞」を受賞。これまで地元を中心に計6回公演しており、現在は20日の鳥取砂丘フィールドハウスでの公演を目指して準備している。

地域を元気にする県民の優れた地域づくり活動を表彰する「令和7年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」学生部門の特別賞「ミライを担うとりぎん大賞」を受賞した。会長の富田優真さんは「今後も活動が引き継がれ

「今後活動が引き継がれ